

ton2-001 tetsuya umeda SHIROTAMA
 DVD VIDEO+AUDIO CD
 NTSC 52min
 2,850yen + tax

ライブパフォーマンスやインスタレーションなど、様々な形態で作品発表を続ける作家、梅田哲也の音源。本人による音楽 CD 『サントラ』と、渡邊寿岳による映像作品 DVD 『時間のそこ』の2枚組セット。



『サントラ』

2006-2009 年の録音。ジャケットに記載されている素材からは想像できないほど、その音はクリアで生命力に満ちている。インスタレーションを使っでの録音やロンドンでのワークショップでの録音などを含む5トラック。

1. ステン°C (2007 年、作業部屋にて)
2. メッス (2008 年、フランス)
3. 泡 (2009 年、札幌)
4. 教室4 (2008 年、茨城)
5. lonkama (2006 年、ロンドン)

『時間のそこ』

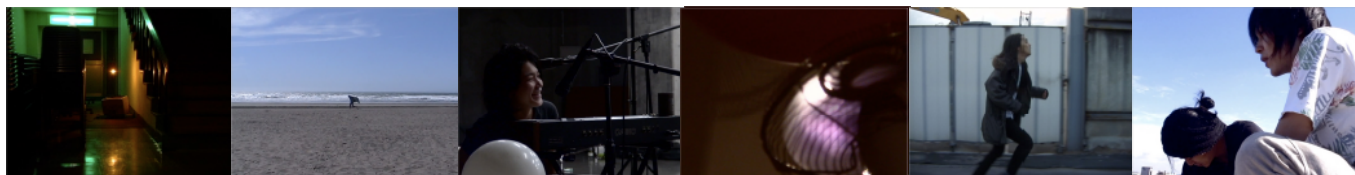
2007 年サンフランシスコ市街各所で行われた、展覧会、ライブパフォーマンス、フィールドレコーディングなどを含めたプロジェクト『Waitool Sounds』の記録と、2008 年茨城県アーカスタジオでの日没から夜明けまでの、2晩だけの展覧会『ミッドナイトエキシビション (門)』の記録映像(渡邊寿岳による撮影)を基点に、ライブパフォーマンス、作品の記録映像、梅田自身の撮影したショートフィルムの断片、フランスの風景、ウィーンの空間、舞鶴の海、地下でのレコーディング風景など、様々な場所で様々な人の手を介して撮影された映像をカットアップした作品。

朝と夜が混じり、町、音、光、たくさんの風景が重なる。

ドキュメンタリーでもなく、物語でもない。

時間軸や固定された場所も、主人公すら居ない。

まるで音の粒の集まりのような、映像作品。



梅田 哲也 Tetsuya Umeda

大阪在住。ライブイベントを拠点に現象としての音の動きや立体感に対するアプローチを続けながら、廃材や自作ツールを使用した作品を多数制作。場所や空間のキャラクターに焦点を当てたサウンドインスタレーション、インプロヴィゼーションのパフォーマンスを各地で展開している。「Festival Beyond Innocence」(2002-2007/大阪)や「INSTAL」(2006/スコットランド)などの音楽フェスティバル、「Sound Art Lab」(2005/大阪)、「the listening project」(2006/ロンドン)、「waitool sounds」(2007/サンフランシスコ)、「Sound Effect Seoul」(2007/ソウル)、「Blurr」(2007/テルアビブ)、「DENSITE」(2008/フランス)など展覧会やイベントに多数参加。2006年にはCD『ocket』(improvised music from japan)もリリースしている。
<http://www.siranami.com/>

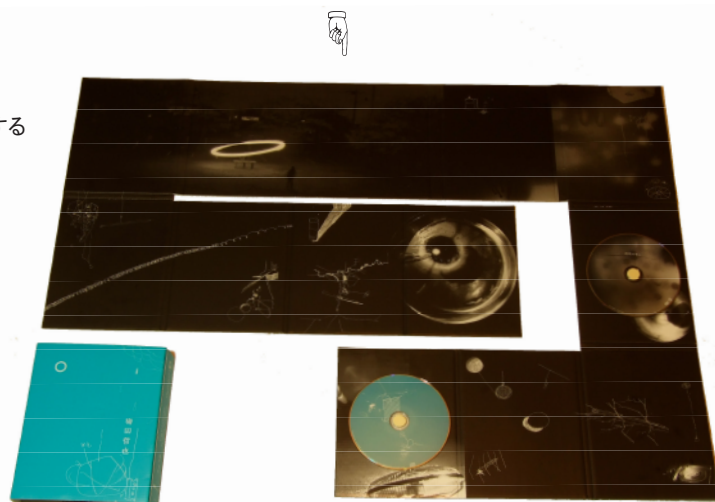


渡邊寿岳 Yasutaka Watanabe

1985年福島市生まれ。映像作家。カメラマン。撮影助手。映画・CM・PV等の撮影助手として活動する傍ら映像作品制作や自主映画のカメラマンとしても活動している。

監督作品

『かつて明日が』 39min/DV/2008



とっくーしーと

<http://www.03150.net/>

開いていくとスタッフロールが展開する13面特殊紙ジャケット。